



Q.がんは予防することができるのでしょうか??

回答:市立貝塚病院
総長

片山 和宏 医師



A.がんは、遺伝子の病
気と言われており、細胞
ががんにならないように
防いでいる正常な遺伝子
の一部に傷がつくこと
で、細胞ががんになって
しまいます。米国女優の
アンジェリーナ・ジョ
リーさんのように親から
がんになりやすい遺伝子
を受継

る肝炎ウイルスは、最
近では飲み薬で治療でき
るようになってきます。
子宮がんの原因となるH
PVは、ワクチンで有効
に予防できます。また細
菌で有名なのは、胃がん
の原因のヘリコバクター
ピロリ菌ですが、こちら
も内服薬で治療すること

30〜40%がんを減らす
ことができると言われて
います。中でも喫煙は、
がんの危険性が一番高
い生活習慣です。また
最近でてきた新型たば
こにも、有害物質が含
まれているため、注意
が必要です。

がんの原因と予防について

ぐ場合も
あります

が、やはり多いのは、ウ
イルスや細菌などによる
感染症や生活習慣の乱れ
によって遺伝子に傷がつ
く場合です。

ができます。このように
感染症が原因となるがん
は、かなり予防できるよ
うになってきています。

可能ですが、完
璧にはできません
。早期発見す
るためにも、検診を定期
的に受けて頂くことが大
事です。

ウイルスでは、肝炎ウ
イルス（B型とC型があ
ります）とヒトパピロー
マウイルス（HPV）が
有名で、肝臓癌の原因と

これに対し、生活習
慣の乱れによるがんは
増加傾向です。喫煙、
飲酒、運動不足、肥満、
食へ過ぎのストレス生活習
慣を適正にすることが、

問 市立貝塚病院
(貝塚市堀3-10-20)
TEL 072-4222-5
0005
http://www.hosp.
kaizuka.osaka.jp/